



発行日 五月十五日 廿五日
定 額 一ヶ月十錢
郵 税 共 一ヶ月二圓四角
代 用 一ヶ月二圓四角
廣 告 料 特別欄金一圓五十錢
普通欄金一圓五十錢
福島縣石城郡平田町三〇
印刷所 一〇 活 版 所
福島縣石城郡平田町三〇
發行所 東北實業新聞社
編輯人 遠 藤 林 藏

教員の亂倫沙汰は教育界の大問題 箕編で安達からの渡り鳥 富豪罪惡史 (二)

吐月族は黄金を鑛山舎に不相應な宏壯につた様だが其事から父賢良は福島縣安達郡玉井より採掘せずして人して華美な邸宅は如發端して前戸主の圓の懷中より掘る也。何にして設けられた通賢良なる惡黨が元掘りて尙足らざればか、疑問の一つとして來性質の良からぬ奴更に膏血を絞らずんて衆人の的となつて輩で彦之亟なる近隣村平民佐藤喜八四女にして母キ賢良妻は安達郡玉井弘化四年二月一日生、大正十一年一月十六日死亡、光善妻 フヨ 明治六年十一月十二日生、明治三十五年六月十日 福島縣葉郡木戸村大字小崎字小山三十三番地松本紋太妹隆助三女婚姻 明治三十七年一月廿八日死亡
光善妻 ヤソ 明治十二年四月十二日生、明治四十四年四月八日石城郡泉村大字瀧尻字後川一番地平民國井龍太郎妹婚姻、大正三年六月六日死亡
光善妻 トリ 明治十九年一月廿日生、大正八年三月八日石城郡川部村大字山玉字前田二十六番地戸主蛭田音次長女婚姻現在生存
長男 政善 明治三十一年五月十日生、妻フヨ、私生

圓通の戸籍

を以て首長となす。一本の盜伐事件からのである、彼れの魔手一たび觸警察に留置され刑事るれば中農も忽ちになぶつた、かされる程して土地に離れ無念の不辣極まる點があるの涙に泣くより外はつた見え嚴重なるない、山の中の片田取調を受けた事がある

兒、明治三十五年六月十日 正三年五月六日死亡
婚姻ニヨリ嫡出子トナル 長女 キミ 明治四十一年二月 爲代 明治三十五年七月廿五日生
九月十七日生、三男 光男 二女 ミツ 明治四十三年大正二年七月廿七日生、大正二年二月二日生(以下次號)

政權乞食は止めよ

吉村白水

國家の問題は別問題としてづくに就ては地方人も猛省眼の當り縣會議員の選舉に一番して縣議員の素質の向對しては一大警告を與へねばならぬ。小なりと雖も予の東北實業は黨派に超越して絕對政黨に關係なく巍然として立つて居る、其處に本紙の偉大なる力がある、今秋の政戰に旗を押立て一方の旗頭、已れこそは地方一角の御大將である鼻をウゴメカンたがるのは自己を知らぬ愚物にして眞に偉いものではな虚榮心を満足させたい藝當である、その尻馬に乗つて騒ぐ地方人は余程の馬鹿物である此時に於て本紙は政治に理解あり、手腕力量ある人格者擁護の爲め、人本位に主義本領を發揮し大痛棒を加へんとする。國會縣會町村會議員を通じて常に醜問題を惹き起すは國民の迷惑とする所であるが議員の素質更に一段の低劣を加ふるが如く最近刑事問題や各種の小事件に就て醜態を暴露し國民として眉をひそめしめた例は頗る多し、縣會議品總改選の期近

政治屋の虚榮心

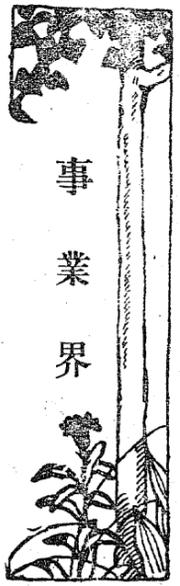
政治屋は彼奴も此奴も虚榮心は奴隷ばかり、露店の人の様に悉皆立派な衣服で満ち満ちたばかりに、土百姓も今では鍬を捨て、フロックコートにシルクハット、綱引きの俵か涼車は二等で威風堂々と議事堂に乗り込んで来るから驚く眞の政治屋は、今時の政治屋の様に何處の馬の骨か知れぬ奴に羨まされたり新聞記者や寫眞屋に跡を追はれたる事を寸毫も有難いと

政界の大小人物

鈴木辰三郎君

下らぬ見榮を張つたり、此黨派の狀況が果してコンナ文化の世の中に原始時代のものとすれば政界の飯を状態の繰返をして居る様な食つて居るものは、退いて下等な眞似はせぬ、今日の政治を何と見るか、何時も戦争だ、平和もなければ休戦もない、嘘を吐く、陥牢を拵へる、拔足差足で人の寝息を窺ふ、揚足を取る、會ふ人毎に、他を敵だと思ふ、寝た振りをして居て、片一方の眼を開いて鐵砲を覗つて居る、罵言讒謔、惡口喧嘩、猜忌嫉妬、有らゆる惡徳の横行だ、コンナ修羅道に如何してまた奴等が入るか云ふと、夫は自分の個人性を完全に且つ自在に發揮せしめたいからだ、逢事を探るとコンナものだ、ふ人毎に之を壓伏し、逢ふ若し夫れ多數の陣笠連に至障害毎に之を制御したいと云ふ意志の自覺から生ずる下らぬ快感を知りたいばかりで、コンナ快感は眞人の得て望むべからざる所だ、他人の意志を枉げて自分の意志に従はせ而して自分の意志の強い事を自慢にしたいばかりだ、外には何の目的もない。今日の政治屋は人間の弱點に付込んで政黨とか黨派とか云ふものを造りソレを自分等が仕事に利用する一つりの機關として居る、現時の

もせず其債券は何處にある郡内に多数の見込であるを
やら全く欺取せられたるもの預證券と約を次號
のとして告訴の手續を取るに報導する此事件は意外
より外なしと、會員はよりなる方面に迄波及して平町
く協議中である其被害は某銀にも關聯して居るか



事業界

良品廉賣を商是の
東北一金物大問屋の

釜屋王國

大盤石の基礎新人兄弟

東北に冠絶せる金物大問屋を歩んで来たが人間の成功
として又石城切つての大地不成功は其の出立點の如何
主として小搖ぎもせぬ富には依らぬ其運命と努力と
豪諸橋久太郎氏は隱退の姿の如何に因るのである。
ではあるが、其左右兩翼の若主人守次氏は愛嬌があつ
てあるは、若主人守次氏とて、初對面の人にすら不快
令弟元三郎氏である、彼等感と與へぬ、洵に如才のな
は靈腕辣手の新進氣鋭の紳士である、輕薄だと非
物で父の意圖を繼いでます 難する者もあるが交際上手
く發展の策を講じてゐると輕薄とは自ら違ふ輕薄と
彼等は富豪に生れ平坦な路は操守の確くない事、其の

杏林界の逸材

吉田安雄氏と
星恒明氏

餘澤に外ならず、研鑽大に
努めざるにあらざりしと雖
も元來其能とする所は學者
的研究に非ずして社交的手
腕也、横文字の醫書より相
らざるも、然れども翻つて其眞價
を檢すれば名の實と相副は
ざるものあらん、彼吉田氏
の今日あるは故人中島氏の
が如くにして而も狹量小膽
自一個の技倆と手腕とを以
斯界人皆彼を推す。

良品廉賣に勝る商畧なし!!!
磐城セメント販賣所は!!!
確實敏捷は(三)の生命なり!!!

平町會議員
阿部政右衛門氏
總まくり(三)

平町會議員

阿部政右衛門氏

思想健全最高學府出の紳
士であり温厚篤實の君子で
ある奮らず驕らず謙讓の美
徳を備ひ町の代議員として
申分なき町會議員の花形で
先輩者諸君もあるな
平水道問題に對して意見を
叩くと自治体は政黨政派に
は關係がない只町民の將來
のため町刷新のためと舌
端只管愛町の熱辯をはかれ
た其責念賞すべきである。

佐藤岩次郎氏

保險の保險たる所以

堀部留造氏談

「おほやう人を見るに少しと思ひます。家の團樂、
心あるときは、皆この家庭の圓滿は家長を中心と
まして一期はすぐゆるするの一團であらねばなら
ない火等に逃ぐる人は、しないのです、心から家長を
ばしとや云ふ。」と徒然草中心とする一家は又團樂の
一節にある様に、人は思一家です、絶え間なく洩る
ねばなりません佛教に對しうつし世をしてエダンの花
造詣淺からざる方は「會園と化し、小蝶の飛ぶが如
く定儂生者必滅」の八字は和氣霽々たるの感がある
すぐ記憶に残つて居ることです。

「おほやう人を見るに少しと思ひます。家の團樂、
心あるときは、皆この家庭の圓滿は家長を中心と
まして一期はすぐゆるするの一團であらねばなら
ない火等に逃ぐる人は、しないのです、心から家長を
ばしとや云ふ。」と徒然草中心とする一家は又團樂の
一節にある様に、人は思一家です、絶え間なく洩る
ねばなりません佛教に對しうつし世をしてエダンの花
造詣淺からざる方は「會園と化し、小蝶の飛ぶが如
く定儂生者必滅」の八字は和氣霽々たるの感がある
すぐ記憶に残つて居ることです。

あります、家長は一家團樂是に於て私に貴下が家族に
の維持者とも又家庭より起對する義務責任上より見た
る總てに對して責任ありとる最善の方法、賢明なる方
認め得るのであります何と法、前掲の諸節を補ひてあ
れば家長の心得次第で歡
悲相別る、岐路にあるので
あります、家庭に於ける悲
劇それは當然の理論として
家庭の負ふ責任であると同
時に家庭に於ける歡聲は家
長の家族に對する慈みの結
晶であります、心ある家長
は現實の事のみより一層未
來に迄踏込る時暗然たるで
せう。愛する家族の幸福は
永遠的にして持久性ありや
一時のなりや。自己の處せ
る方法に何等修正の餘地な
きや、永續的に歡樂の持續
を得可きや家族各個に對し
措置宜しきや、更に自己に
於て萬一の故障に際し家族
の生活に何等の不安を感せ
しめず後圖の餘地あらしむ
るや否や、總てに精神的慰
安は充分なりや否や、一度
驕つて自己の身を省みる時
限りある年齢を如何に見
てせう、限りある生命に對
して持つ觀念は如何ですか
此際に一考を要する點であ
らうと思ひます、就中愛兒
に及ばず物質的壓迫よりの
救護策は純實な家長の共通
的考慮する點と思ひます、

一〇活版所

日清生命保險株式會社

代理店 久の濱町 堀部留造

我社は五大特色を有す
七大便利を有す



諸橋久太郎商店
振替口座東京一〇九五六番
電話九番一〇九五番

祝昭和の天長佳節

石城銀行組合

磐城銀行	平越銀行	磐城實業銀行	磐城東銀行	四倉銀行	第七十七銀行	第七十七銀行	農工銀行	常盤銀行
平	平	平	平	平	平	平	平	平
三丁目	二丁目	南町	四丁目	四倉町	三丁目	二丁目	四丁目	植田町

農工銀行副支店
河西北八十八治
平支店長

祝創刊七週年

山崎合名會社

福島縣平町

電話(營業部)一〇番
(醸造工場)二七番
振替東京一九七五五番

上野車坂町四三

東京支店

電話(淺草)五七二八番
振替東京六八三一一番



釀造元

磐城海岸軌道株式會社

石城郡小名濱町
電話二十八番

小野晋平

小野務平

磐城建物株式會社

電話五一八番

湯本町長 高木巳之吉

秋山清太郎

山田村

木内善次郎

山田村

石城郡平町鎌田

金成自動車部

金成國稚
電話四六八番

電氣機具萬金物良品廉價販賣

平電氣株式會社

平町停車場前電話四二八番

平町田町

高久病院

電話五一三番

醫學士 高久 忠
新潟醫學士 赤羽 清
藥劑士 佐竹 菊雄

内科 小兒科
外科 花柳病科
耳鼻喉科
レントゲン科

内科・小兒科・花柳病科

入院應需

藤沼醫院

平町紺屋町
電話五〇七番

四倉銀行會社組合

四倉銀行會社組合